※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭基礎（自立・共生・創造）」　（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分の生活を支えている家庭や家族に目を向け、興味・関心を持ちましょう。
・家庭生活は社会と密接に関わって運営されています。そのため、家庭科の各分野の学習は社会と深く結びついています。家庭や家族、および社会に対して理解を深め、知識を持ち、また、実践的・体験的な学習を通し、生活に必要な知識・技術を身につけましょう。
・学んだことを基礎にしてより豊かな生活を目指します。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭および衣食住、保育、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
・学習した知識や技術を活用し、家族や家庭の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
・将来にむけて、自分の人生のビジョンをしっかり持つ。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び衣食住、保育、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、保育、消費生活などについて、生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、保育、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	1. 家族・社会との共生 2. 人生を展望する 3. 目標をもって生きる 4. 自分のライフスタイルを選ぶ 5. 超高齢社会を共に生きる 6. 社会保障とは	a: 学習内容について、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。青年期の生き方について検討する技能を身に付けている。 b: 課題を見出し、その解決を目指して考え、表現している。 c: 学習内容について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	授業課題 提出物 グループワーク	提出物 学習状況の観察 振り返りシート
	経済生活・住生活をつくる	1. 消費生活と意思決定 2. 購入と契約 3. 生涯の経済生活を見通す 4. 住居の機能と変化 5. 平面図を理解する 6. 健康な住生活	a: 18 歳で成年になることをうけ、契約の重要性と責任について理解している。家計の管理や消費者問題の現状を理解し、消費者の権利と責任を身に付けている。 b: 現代の消費社会の仕組みについて考え、自分の身に置き換えて考察、工夫している。 c: 収入と支出について関心を持ち、将来の職業生活を真剣に考えようとしている。	定期考査	授業課題 提出物 ワーク	提出物 学習状況の観察 振り返りシート
2学期	食生活をつくる	1. 青年期の食生活の課題 2. 食事と栄養・食品 3. 食品の選択と安全 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 6. これから食生活	a: 健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 自分の食生活の課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c: 健康に配慮した食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。健康で安全に配慮した食生活を営むために主体的に取り組んでいる。	定期考査	授業課題 提出物 ワーク	提出物 学習状況の観察 振り返りシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	衣生活をつくる	1. 被服の役割を考える 2. 被服と表示 3. 被服の管理 4. 被服の構成 5. 被服の生産と消費 6. これからの衣生活	a: 衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 衣生活について課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断し、表現している。 c: 健康で快適な衣生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。手縫いなどを通して被服作品の製作に主体的に取り組んでいる。	定期考査	授業課題 提出物 ワーク	提出物 学習状況の観察 振り返りシート 製作品
3学期	子どもと共に育つ	1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもの発達と保育 4. 子どもの健康と安全 5. これからの保育環境 6. 子どもの権利と福祉	a: 子どもと関わるときのために必要な知識や理解を身に付けている。子育てにおける課題などについて情報を収集したり、調査することができる。 b: 子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめ、表現している。 c: 子どもや子どもを取り巻く環境について関心を持ち、親や家族、地域社会の果たす役割を考えようとしている。	定期考査	授業課題 提出物 グループワーク	提出物 学習状況の観察 単元別振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度